

(1) 令和8年2月8日執行

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第10区)

東京都選挙管理委員会

I am
JAPAN

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくり出します。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

7 **子ども一人につき月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授け育てたいと思える環境をつくり出します。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!

安田しん(55歳) プロフィール
1970年生まれ。東京都豊島区で育つ。高松小学校、千川中学校、東京農業大学第一高校、東京農業大学農学部農学科を卒業。多くの企業にてコーポレートファイナンスを中心に、M&Aや上場対応に従事しCFO等を歴任。現在はカフェを経営しながらブルーベリー農園の開園に向け準備中。現在2児の父として子育て中。音楽、スポーツ、読書が趣味。



安田しん
参政党公認

暮らしに希望 取り戻す闘い

6つの公約
1 消費減税・賃上げを実現!
物価高騰対策として、飲食料品の消費税をゼロにします。また、国による賃上げ支援策を抜本的に強化することで、企業等による賃上げを加速します!

2 育児負担を軽減!
都市部では教育費用が膨らみ、子育て世帯の暮らしを見えづら形に迫っています。塾や習い事などにかかる費用への公的支援を拡充し、安心して子育てできる環境を整えます!

経済が伸び悩む中、物価の高騰や教育支出の増大などによって家計への負担が増しています。また、人口減少が進む一方、外国人が急増し、社会が大きく変容しています。覇権主義の台頭に伴い、国際情勢も厳しくなる一方です。社会が大きな転換期を迎え、従来の施策体系では対応しきれなくなりつつある今、政治に必要なのは変化への対応です。
ここは私にやらせてください。
これまで、エネルギー安全保障政策の転換(注1)や再生医療分野の規制改革(注2)など、時代に即した政策転換を手掛けてきました。現在、内閣府副大臣として、外国人との「秩序ある」共生に向けたルール整備にも全力で取り組んでいます。培ってきた経験をもとに、**「日本の未来を必ず守る」**との強い決意で、この闘いに臨んでいます。

3 年金生活者支援を!
物価高騰は年金生活者の暮らしにも深刻な影響を与えています。年金生活者支援給付金制度の拡充や公営住宅等の充実を実現します!

4 豊かに暮らせる経済を!
産業の高付加価値化、時代に即した業態・業種へのシフト、外需獲得、業務効率化、人材育成、成長産業の創出などを通じ、経済成長を実現します!

5 国民目線の外国人政策を!
外国人が急増し社会が大きく変容する中、様々な課題が生じ、国民生活にも影響が及んでいます。日本の未来を見据えた検討を行い、外国人政策に関するグランドデザインを描いていきます!

6 覇権主義への対策を!
覇権主義国家による政治・軍事・社会・経済各面の攻撃から我が国を守るため、軍事以外の面も含めたあらゆる事態への対応能力の構築と抑止力の向上を急ぎます!

各公式SNSはこちら
公式 LINE 公式 X 公式 YouTube 公式 Facebook 公式 Instagram
筑波大学附属駒場高校卒業 / 東京大学卒業 / 経済産業省出身 / 48歳 / 3児の父

直近の実績
1 『認知症基本法』制定
2 『こども基本法』制定

内閣府副大臣
衆議院議員4期
比例代表も自民党へ



鈴木隼人
はやと
自民党公認

<重点政策 本質を見極め 本質に挑む> 公式HP

①財政再建
●各種「一律無償化」の段階的廃止
払える人は払う。
お金やサービスは、空から降ってこない。
誰かの税・保険料・利用料は、誰かの給料。
●税・保険料は、該当者全員で応分負担
所得税は年収1円から、社会保険料は個人単位で応分負担とし、立場に関わらず公平に負担する。
通勤時の道路や医療サービスは、誰もが受益者。
負担する人が減れば、どこかに必ず歪が生じる。
●支援は『ほどこし』ではなく、生活改善の『後押し』
本当に必要な方、に迅速・的確・手厚く・柔軟に
●国の借金削減こそが、最強の対策(経済・少子化等all)
借金の主因である右記③の改革に加えて、富裕層に年金給付の一部辞退と、同額の相続控除加算を提案。
年金支出削減による、新規借金減 → 利払い費減 → 元本返済額増 の効果で、攻めの返済計画を立案。
国民は、巨額債務(約1200兆円)を知っており、漠然とした将来不安・停滞感、家計の過剰防衛の根はそこ。
意識・行動の好転には、借金返済の道筋明示が必須。

②国民所得向上
●大企業系列の建設的解体で、産業活性化
中小企業を 安心 → 慢心 → 思考停止 → 依存 → 主従関係 の負の連鎖から、自主自立 → 新規開拓へと意識転換を促す。主体的な横の連携を促し、共通の開発・生産設備には国も積極投資する。
●低収益企業の再編で、低賃金・低年金の根を断つ
個人の保護を整備した上で企業の新陳代謝を促す。
改善の見込みが低い、低賃金の常態化・将来の低年金者を生む状態を、市場任せで放置しない。
●収益分布可視化で、収益の適正分配と技術革新促進
不動産業界では、企画・販売企業に偏っていた収益が、近年、建設・保守企業にも適正分配され始めた。これを全業界に広げる為、業界別横断会議を推進。
収益分配が、いびつな業界は多く、改善に積極関与。適正な利益分配が企業・人の改善意欲を高め、次の技術革新を育む。 法制面でも柔軟に支援する。
●原材料の自給率向上で物価安定化
少々強引だが、限定的に国内全事業者に役割付与。
日本の分厚い産業基盤の英知を結集して、全ての土台となる、原材料生産(産業・食料)の国内基盤を5年程度で再構築する。

③医療・社会保障改革
●予防医療強化で介護・病気を未然防止
家庭医療制度で、長期一貫的に健康管理。健康維持にこそ手厚い医療報酬を付与。
食事・運動・睡眠の改善に、国が関連企業を巻き込み積極関与し、少しの意識で避けられる病気を要介護を防ぐ。
●保険料率、医療費自己負担率の傾斜設定
乗用車とスポーツカーでは自動車保険料率が異なるように、マイナカードで喫煙・飲酒量、健診判定等を把握し差を付ける。 若年層の軽微な病気治療は自己負担率を高くする等、メリハリを付け、個々の健康管理意識を高める。
●先進・高額医療への対応
民間医療保険加入を一部義務化する等時代に即した保障体系を再構築。
併せて、高度・高額医療施設の集約や研究投資を通じて、合理性を高める。医療の進歩をフルに享受する為には財務面の持続可能性が不可欠。
●医療機関・医師の国全体での最適配置
医療の合理化・質向上には不可欠。

④外交・防衛再構築
●国家防衛の段階的自立化
在日米軍を順次自衛隊に転換。国家防衛を他国依存状態から国家の自主自立へと不可逆。
●自分の課題解決を世界に示す
拉致(北朝鮮)、竹島(韓国)尖閣(中国)、北方領土(ロシア)を解決する。 全て難題だが本質は、世界的全課題と共通。解決すれば、それが世界への強力なメッセージになる。
〇〇政権の最優先課題。。。米国の完全一致を要する事を確認。今は、行動の時である。
●信頼こそが最強の防衛・外交力
世界の混沌の本質はダブルスタンダードの氾濫と、それへの反発、のせめぎ合い。人も国家も皆、多くの矛盾を抱えている。 その上で常に誰に対しても筋を通して行動すれば、国の存在感が高まり平和的で強力な防衛壁となる。



小山徹
こやまと
一番星
50歳

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- ※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第10区に属する区域

- ◎文京区の全域
- ◎豊島区の全域

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第10区)

東京都選挙管理委員会

変わらぬ想いで、変えてゆく

住宅

家賃高騰と情報不透明さを解消し、住み続けられる街へ

- ①不動産取得手続きを一本化し、国籍・利用実態を把握します。
- ②家賃負担率が高い世帯に、家賃補助+税額控除で支援します。
- ③公的住宅を活用し、若者・共働き世帯向け住まいを確保します。

外交

強がらない・孤立しない・依存しない

- ①日米同盟を基軸に、QUAD・欧州・ASEAN・中国と多層的外交を行います。
- ②力ではなく「法の支配」による国際秩序を重視します。
- ③外交の信頼で、平和と為替・物価など暮らしを守ります。

教育

教育は家庭の自己責任ではなく、社会の投資です。

- ①教育無償化一辺倒ではなく、公教育の強化と充実。さらには見えない教育費(端末・部活動・教材・修学旅行など)への補助を行い、教育費を総合的にサポートしていきます。
- ②奨学金返済負担の軽減、大学・研究基盤の立て直しで国際競争力をアップし、継続的な賃上げの原資をつくります。

暮らしを守る経済。結果を出す外交。総動員してあなたを守り抜く。高すぎる物価、上がらない賃金。賃金が物価の上昇を上回る状況を確実に作り出すため、所得を削る3大固定費「家賃」「教育費」「社会保険料」の圧縮に挑みます。

社会保障

制度を根本的に再設計。

- 社会保険料の段差(壁・崖)をなくし、働いた分だけ手取りが増える仕組み(就業調整の解消)が必要です。所得や資産に応じた世代で分断しない制度の再設計に挑みます。
- ①出産・育児・介護による就労中断時の補償強化
- ②高齢者の貧困リスクをなくす、最低保証機能の強化
- 「これだけ多くの社会保険料を払って、いつ、何から守られるのか」わかりやすくします。



鈴木
ようすけ
中道改革連合公認

プロフィール

1975年豊島区生まれ コロンビア大院/
ロンドン大院(LSE)/立教大卒 レスリング部主将
元NHK記者 衆議院2期 外務委員会次席理事
など歴任 全力で走り続ける身長190cm

国民民主党

Democratic Party For the People

梶原みずほ

プロフィール

豊島区、文京区にお住まいのみなさま、初めまして! 梶原みずほです。私は文京区で子育てをしながら、朝日新聞記者、テレビ朝日「報道ステーション」のコメンテーター、国際政治学者として、多くの国を訪ねて人々の営み取材し、また、日米同盟の最前線であるハワイで安全保障の研究をし、発信してきました。

そんな私になぜ、国政を目指すのか。政治とは過去から現在、そして未来へと世代を超えてバトンをつなぐ共同作業です。世界のダイナミズムが大きく変わろうとしている今、場当たりの近視眼的な政治をやめ、ニッポンの「百年の計」をしっかりと描く。若者も、現役世代も、ご高齢の方も、みんな一緒に素晴らしい国づくりをしようではありませんか。みなさま、どうぞよろしくお願ひ致します。

- 1972年生まれ。文京区育ち。文京区で子育て
- 文京区立第十中学校を経て立教英国学院で寮生活
- カタールの高校を経てカイロアメリカン大学政治学部卒業
- 元テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター
- 朝日新聞で政治記者や編集委員を歴任
- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。
- 著書に「アメリカ太平洋軍」(講談社)。専門は日米同盟と海洋安全保障
- アメリカ・ハワイにあるアジア太平洋安全保障研究センター元客員研究員
- 元跡見学園女子大学兼任教員
- 慶應義塾大学SFC研究所上席所員/拓殖大学海外事情研究所客員研究員

私も応援します
玉木雄一郎



- ①しっかりと海を守り、国土を守り、国民の命を守る
- ②備えは最大の抑止。技術研究開発を加速させ、防衛力を高めていく
- ③外国人との共生は国家の責任。自治体まかせにせず、教育や地域社会への負担を減らす



国民民主党 公認
梶原
みずほ

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
なお、投票所入場券がなくても、選挙人名簿に登録されている本人であることが確認できれば、投票が可能です。

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- ※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第10区に属する区域

◎文京区の全域

◎豊島区の全域

投票方法

「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載